

先端歯学国際教育研究ネットワーク 第19回先端歯学スクール2024に参加して



令和6年8月23～24日に東京医科歯科大学で開催された第19回先端歯学スクール2024に医歯学総合研究科 博士課程（歯系）4年生の宮田春香さん（所属：口腔顎顔面補綴学分野）が参加し、研究発表を行いました。研究発表課題名は「顎骨骨髄由来間葉系幹細胞の特性解明」でした。宮田さんはこれまで、顎骨骨髄由来間葉系幹細胞（顎骨MSC）を用いた顎骨再生療法の開発を目指し、顎骨MSCの分化能や動態評価を行ってきました。先端歯学スクール2024では、顎骨MSCは*in vitro*で特異的な分化能を示すことや、マウスを用いた*in vivo*での顎骨MSCの動態評価では、生理的条件下および抜歯窩治癒過程において分子発現の異なる顎骨MSCが存在し、それらの局在部位が異なることを報告しました。

本年度の先端歯学スクールでは、全国歯学部、歯科大学及び関連施設に所属する、選りすぐりの優秀な11名の大学院生のハイレベルな研究発表が行われ、活発な質疑応答が繰り広げられました。また、教育講演として、北海道大学の樋田京子教授によるご講演がありました。宮田春香さんは「他大学および普段参加する学会ではあまり聞くことのできない他分野の研究内容を聴くことができる大変貴重な経験ができました。みなさん非常にレベルの高い研究に取り組んでおり、私自身も、よりがんばろうと改めて思えました。参加してよかったです。」という感想を述べられました。日本の歯学分野において優秀な若手研究者を育成する目的で実施されているこの先端歯学スクールが今後も継続して開催されることを祈念いたします。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野 池田菜緒